

事業概要

提案タイトル	自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業
提案者	活用技術
和歌山県太地町	AI、自動運転、ドローン

背景・課題

- | | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す将来像 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民が公園の中に住んでいるようなまちづくり ・くじらの学術研究都市＝まち全体博物館の実現 |
| 解決すべき課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活の足の確保、高齢者の外出機会の増加 ・漁業振興や森浦湾等における観光振興 |

実装を目指す主な事業内容

自動運転実証事業：自動運転による持続可能な公共交通サービスの実現

活用技術	事業概要
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ・町の中心部並びに主要施設(病院・スーパー等)を多頻度で往復・周回することによる高齢者の生活の足を確保 ・道の駅を拠点とした主要観光地を巡る観光客の足を確保

ドローン実証事業：海域における物資輸送や鯨類調査等の実現

活用技術	事業概要
ドローン	<ul style="list-style-type: none"> ・漁具等の輸送による漁業従事者の負担軽減 ・観光客(マリン事業)へのサービス提供や、鯨類調査の効率化によりくじらの学術研究都市の実現を加速化 ・飛び地(夏山地区)へのドローン物流により距離的・時間的障壁を解消

見守り実証事業：防犯カメラ等を活用した高齢者見守りシステム構築の実現

活用技術	事業概要
AI	<ul style="list-style-type: none"> ・車載カメラ、防犯カメラを活用し、高齢者の見守りシステムを構築 ・カメラ画像を活用し、顔認証と行動認識を検証、認知症による徘徊や身体障がい者の危険察知等を実施



- 第1段階 町内周回コース：**周回約10km
(道の駅-坂野医院-漁協スーパー-はまゆうクリニック-南紀園)
- 第2段階 町内周遊コース：**周回約11.7km
第1段階ルートに森浦湾、くじら館、役場を追加
→延長(片道)：2.5km
※往路は新規拠点3箇所を通過、復路は新規拠点は通らず坂野医院方面から道の駅へ戻る
- 第3段階 地域拠点コース：**①往復約1.2km②往復3.6km
第1段階及び第2段階ルートに
①太地駅から道の駅区間を追加(電動カート)
②太地駅、地域福祉センター柳を追加(自律走行)